

システム主要機能（イメージ分割機能）

機能	概要
動作プラットフォーム	Oracle Java Runtime Environment 8.0が動作するサーバーOS上で動作 Windows 2008 Server, Windows 2012 Server, Linux マルチコアCPU・メモリ2GB以上・SCSIによるRAID環境を推奨
利用可能なイメージファイル	白黒およびカラーTIFF（G3FAX/G4FAX/LZW圧縮/JPEG圧縮） Multi TIFFも利用可能（最大1000ページ） JPEGファイル BMPファイル
画像サイズの制限	特に制限無し A3/300dpiで動作確認済み
1フォルダあたりの イメージ枚数	特に制限無し
分割数	既定で100パレット（注）まで指定可能 注：パレットとは、分割後の画像ファイルが生成される単位です。
分割定義の方法	専用ユーティリティにより定義
分割定義の保存方法	xmlファイルにて保存
イメージ分割モード	・標準（マスキング処理を含む） ・串刺し ・シャッフル
イメージの串刺し	標準サポート 串刺し回数（20回まで）と 串刺し方向（縦・横）を指定可能 シャッフルとの併用は不可能
イメージのシャッフル	標準サポート それぞれのパレットの画像を組み合わせて、1枚の異なる画像を作成する機能 串刺しとの併用は不可能

システム主要機能（イメージ分割定義、その他機能）

動作プラットフォーム	Windows7, 8, 8.1, 10（バージョン1709まで）※Windows RTを除く OSがストレスなく動作する能力を持ったx86系とx64系のCPU、メモリ2GB以上推奨
作成可能な分割定義数	特に制限無し OSのファイル・フォルダ数制限に準ずる
利用可能なサンプルイメージ	白黒およびカラーTIFF（G3FAX/G4FAX/LZW圧縮/JPEG圧縮） Multi TIFFも利用可能（最大1000ページ） JPEGファイル、BMPファイル ※分割に使用可能なイメージファイルと同様
テキストの結合・バッチ機能	標準サポート イメージ分割機能で分割した画像由来の、テキストの結合をサポート
テキストの取り込み・バッチ機能 ※OCR訂正など	標準サポート予定 イメージ分割機能で分割した画像に合わせてテキストを分割する機能

●本仕様は予告なく変更する場合があります。
※本カタログに記載されている会社名及び製品名は登録商標または商標です。
※「Super-Entry」は株式会社エス・イー・シーの登録商標です。

開発 **SEC** 株式会社 エス・イー・シー お問い合わせ先

SEC COMPUTER TECHNOLOGY <https://www.sec-inf.co.jp>

〒110-0015
東京都台東区東上野1-8-1 布施ビル3階
TEL: 03-3834-2408 FAX: 03-3833-6276

守りたい情報がそこにある

Super-Entry®シリーズ 超高速！！イメージ分割

ハイレベル・イメージセキュリティシステム

簡単な設定で、複雑な画像秘匿化処理を実現

・・・シャッフル、スクランブルなどの複雑な画像秘匿化処理が簡単な設定にて実現できます。

多様なシーンでの使用が可能です。

・・・分割パターンを定義すれば、後は処理を自動化できます。
既存の
・イメージワークフローシステム
・イメージファイリングシステム
などへ組み込み、秘匿性の向上も可能です。



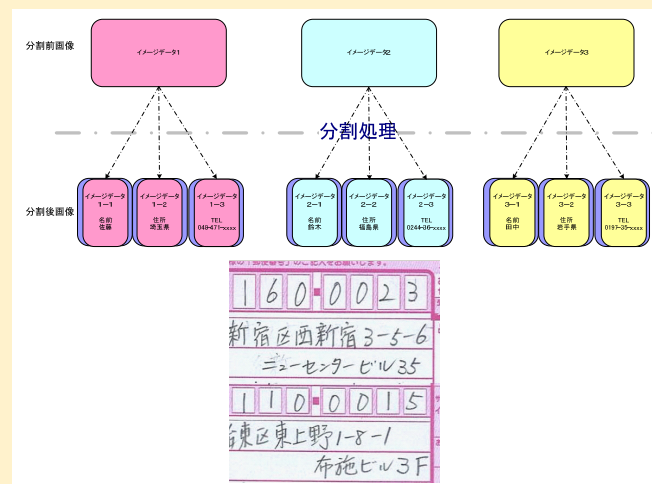
SEC 株式会社 エス・イー・シー
COMPUTER TECHNOLOGY

守りたい情報がそこにある

Super-Entry シリーズ『超高速！！イメージ分割』は簡単な設定で複雑な画像秘匿化処理が行えます。守りたい情報は“ハイレベル”なセキュリティ対策で！！

名前・住所の単独切出、郵便番号&住所の複数項目切出などは当たり前

- ・ 入力効率の向上、
 - ・ 秘匿性向上
- を同時に図れます。



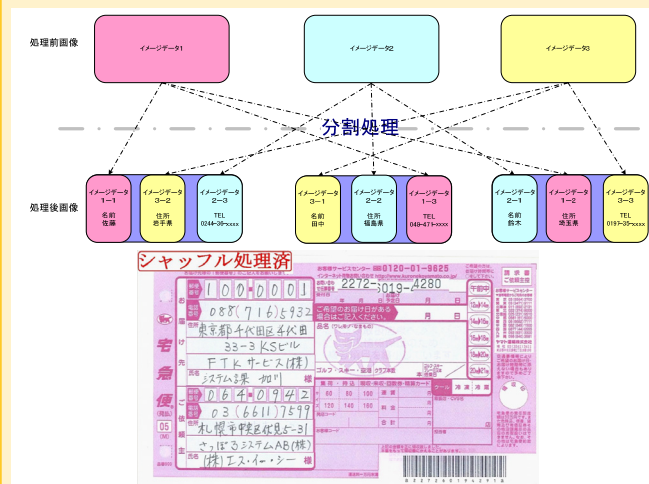
名前、住所など項目毎の**単独切出**、郵便番号と住所等関連する項目を切り出す**複数項目切出**にも対応しています。

入力効率を上げつつ、秘匿性も同時に向上できます。

処理後のファイル名は元ファイルとは全く関連のないものにするためさらに秘匿性が向上します。特定の項目を隠す**マスキング**も同時に行えるので、お客様の様々なニーズに応えることができます。

既存の入力プログラムをそのままに、秘匿性向上

“シャッフル機能”で既存の入力プログラムをそのままに秘匿性を向上できます

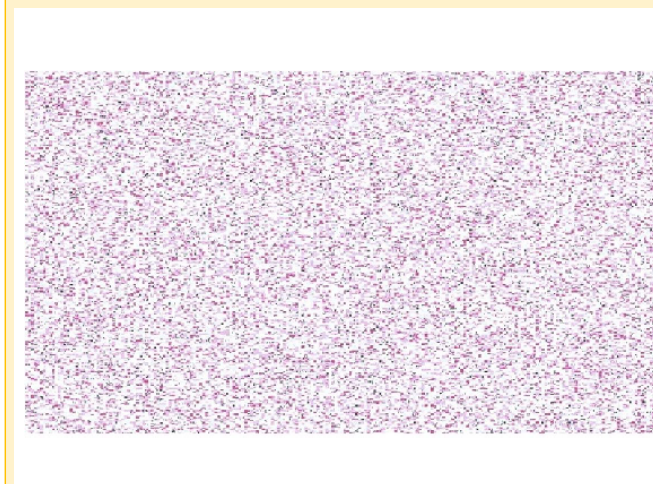


複数の画像から切出した、名前、住所、電話番号などの項目を
1枚目：名前
2枚目：住所
3枚目：電話番号
といったように組み合わせ、複数の画像の一部をランダムに集め、1つの画像に再構成します。

(再構成パターンは1枚毎に異なります) 入力方法とプログラムの大きな変更を必要とせず、秘匿性を向上できます。

合わせ技で秘匿性を向上させるための“秘密兵器”

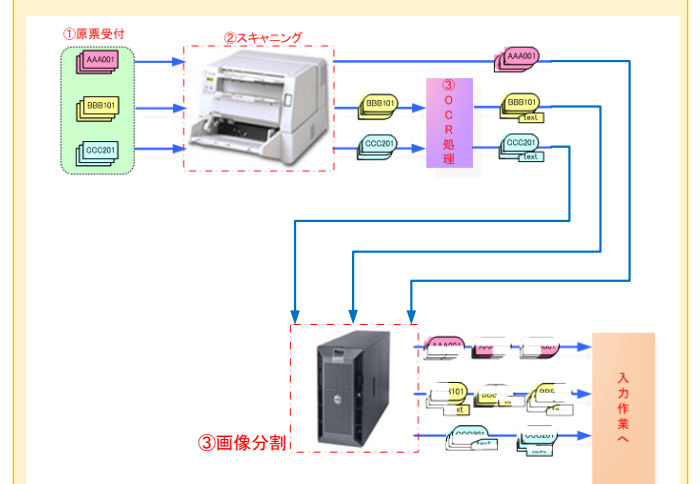
“スクランブル機能”で単独切出、シャッフルされた画像を強力に秘匿化できます。



当社独自の“スクランブル機能”は単独切出、シャッフルなど元画像に**秘匿化処理した画像をさらに強力に秘匿化**する為の機能です。1枚毎に“砂嵐”パターンが異なり、仮に1枚のイメージが解析できても、他のイメージは解析できません。縦・横200ピースずつシャッフル処理した場合の復元確率は 2×10 の15万乗というとてもつかない数字。画像解析にて元の**画像に戻すのはほぼ不可能**です。

イメージを配置すれば、後は自動で“超高速処理”

スキャニング、OCR処理後の連携などにも柔軟に対応します。



画像分割定義後、“画像分割サーバー”に定義情報を配置することで、

- イメージ分割処理
- ～分割イメージの送信
- ～分割入力済みテキスト受信
- ～テキスト結合

まで**自動化**できます。

スキャニングやOCR処理後に**イメージ分割処理を追加**できますので、**既存処理フロー秘匿性を容易に向上**することも可能です。